

UTSUNOMIYA BREX 2024-25

MOVE ON

OFFICIAL FUNCLUB CLUB-REX 会報誌『MOVE ON』



01

【ホーム開幕直前インタビュー】

ケビン・ブラスウェルHC / #7 小川 敦也





HC ケビン・ブラスウェル

KEVIN BRASWELL

※このインタビューは、9月17日(火)に実施しました。

——プレシーズンゲームも始まり、いよいよ開幕に向けて本格的にスタートしてきましたが、現在のチームの雰囲気はいかがですか。

試合に向けて練習もハードになっているので、選手たちは少し疲れもあると思いますが、コンディションやチームの雰囲気は、日々ポジティブになってきていて良い状態です。

長いシーズンを乗り切るためにも、この時期にしっかりとコンディションの土台を作ることが大切なので、そこを意識しています。

——練習中も、真剣な場面と、笑顔で楽しみながらプレーをしている場面があり、良いメリハリがありますね。

ヨーロッパにいた頃、2人の尊敬するコーチに出会い、彼らからチーム練習の雰囲気作りを学びました。

前後のスケジュールや今のチームの状態を考えて、身体を動かすメニューが良いのか、リカバリーの時間をどれぐらい取るのか、頭を使うフォーメーションの練習を多く取り入れるのか、など常に考えるようにしています。

——これまでのプレシーズンゲーム5試合では、ブラスウェルヘッドコーチ(HC)の試したい部分は実践できましたか。

今シーズンは、昨シーズンとほぼ同じ選手たちで形成するチームで、すでにベースは出来上がっているのですが、一から何かを試すというよりは、対戦相手によって自分たちがどのように対処していくべきかを見ていました。



ファンみなさんに 恩返しができるように、 チーム一丸となって 全力で準備する

例えば、越谷アルファーズのような身長が高い選手とのマッチアップや、秋田ノーザンハピネッツのようなディフェンスが強いチームへの攻撃スタイルなど、今後に活かせる準備や経験ができたと思います。

——昨シーズンから、コート内外で積極的に選手とのコミュニケーションをとっている印象でしたが、選手とコミュニケーションをとる上で、意識している部分はありますか。

ミーティングでも選手に話をするのですが、分からないことや不安なことがあれば、いつでも質問してほしいと伝えています。お互いの信頼関係や意見を尊重することが大切なので、そこを意識するようにしています。

——HC就任後のインタビューなどでは、昨シーズンのブレイクスの課題にコミュニケーションを挙げていましたが、現在そこは改善されてきていますか。

コミュニケーションはすぐに形になるものでも、改善されていくものでもないので、常に意識する必要があります。

映像で試合を見返す時に、コミュニケーションが取れていないことでミスに繋がったという場面を洗い出して、そこを改善できるようにミーティングで話し合ったりしています。

確実に良くなってきてはいますが、まだまだ成長できると思いますし、今の時点で完璧にすることが目標ではなく、シーズンの中盤に自分の理想形に近づけられるようなイメージで取り組んでいます。



——ご自身の性格を一言で表すと何ですか。

これはモットーなのですが、「fun(楽しむこと)」と「challenge(挑戦)」です。

バスケットボールだけでなく、何をするにも楽しみを見つけないと、真剣になったり、モチベーションを上げることはできません。ストレスのかかることや嫌なことは誰でもあると思いますが、楽しみを見つけるためにも、まずは今の環境でやるべきことに挑戦してみる、と考えるようにしています。

——シーズンが始まると忙しい日々が続くと思いますが、リフレッシュするために行くことはありますか。

ゴルフです。普段チームスポーツに触れているので、個人だけに集中したり、マイインドセットをするためにも、ゴルフはとてもリフレッシュできます。30分〜1時間打ちっぱなしに行くだけでもリラックスできますし、栃木県はゴルフ場も多いので良い環境です！

——以前(#25 D.J.) ニュービル選手にインタビューした際に、「ケ빈は料理が上手」と話していましたが、今も料理はするのですか。

上手ではないので、もう少し勉強したいとは思っています(笑)。ただ、ヨーロッパで一人暮らしをしていた期間が長かったので、今でも料理はたまにします。

——昨シーズンのホームゲームは、ほぼ全試合が満員でファンの熱量も大変高かったと思います。ブレックスのファンのみなさんの印象はいかがですか。

ホームゲームだけでなく、アウェイでも多くのファンのみなさんが応援に来てくれることに、昨シーズンは大変驚きましたし、毎試合感謝しています。

先日のアウェイの川崎ブレイブサンダース戦も、会場の半分がブレックスファンのみなさんで驚きましたし、嬉しかったです！

日本のバスケットボール人気が年々上がってきている中でも、ブレックスファンの愛情やエネルギーは、特に強いものを感じていますし、そのようなファンのみなさんをより増やせるようなチームにしていきたいと思っています。



——そんな熱い声援を送ってくださるブレックスファンのみなさんに、最後にメッセージをお願いします。

試合やイベントなどでファンのみなさんとお会いすると、どれだけの愛情を持って自分たちを応援してくれているか、勝利を期待してくれているか、という想いの強さに感動しますし、そのサポートに感謝しています。

みなさんに昨シーズンお届けできなかったものを、今シーズンはしっかりとお届けして恩返しができるように、チーム一丸となって全力で準備しています。レギュラーシーズンでファンのみなさんとお会いできることを心待ちにしています！

ケビン・ブラスウェル

KEVIN BRASWELL

アメリカ出身

1979年1月23日生まれ

選手歴

2002年にベルギーでプロ選手としてのキャリアをスタートし、ヨーロッパやオセアニアの各国でプレーを重ね、2015年に引退。

その後、ニュージーランドなどでコーチを務め、2021-22シーズンからB.LEAGUEへ。

コーチ歴

2021-22 秋田ノーザンハピネッツ アシスタントコーチ

2022-23 秋田ノーザンハピネッツ アソシエイトコーチ / HC 代行

2023-24 宇都宮ブレックス アソシエイトコーチ

2024～ 宇都宮ブレックス ヘッドコーチ

Profile

UTSUNOMIYA BREX 2024-25

MOVE ON

#7

小川 敦也
ATSUYA OGAWA

持ち味のスピードを活かした
早い展開からの攻撃や
アシストに注目して欲しい

※このインタビューは、9月3日(火)に実施しました。



ようなファンの方も増えたのではないですか。

試合後にコートを一周する時に、ユニフォームやタオルを掲げてくれたり、アピールしてくれたりするので、「あ、僕のユニフォームを着てくれてる！」と気づくことが増えました。

ただ、先輩たちのグッズを持っているファンの方が多く中で、僕のグッズを持っている方はまだ少ないので、見つけやすいのかもしれないですね（笑）。

——現在、ご自身のプレーで強化していることは何ですか。

3Pシュートの精度を高める練習はずっとしています。

また、今シーズンのチームのスタイルが早い展開で、それを作り出すことがガードの役割でもあるので、デフエンスからオフエンスへの展開のスピードアップを練習では意識しています。

——ブレックスには、目標としている#6比江島（慎）選手を含め、経験のある選手が多く在籍しています。ご自身の課題の中で、「この選手のここを見習いたい」という点を挙げてください。

勇太さん（#0 田臥選手）の速攻のパスを出す時の精度やスピードです。

パス自体もそうなのですが、リバウンドを取った選手から速攻前にパスをもらう時のポジショニングや、見る視点などがすごいなと毎回思うので、そのポイントを見習っています。

——ご自身のコンディションはいかがですか。

試合を想定した練習になってきていて、試合で少しでも楽になるように、練習はかなりハードなメニューで行っています。

そのため体力的には大変な部分があるのですが、チームの雰囲気や自分のコンディションは良いペースで仕上がってきています。

——体力のある#7小川選手でも今の練習内容はかなりハードですか。

そうですね、今まで僕が経験してきた練習内容

とはタイプが違う部分も多く、今シーズンは、流れを止めない練習スタイルだと感じます。

休憩時間も少なめでハードではありますが、集中力が途切れることなく練習できるので良い面も多いです。

——昨シーズンの途中から特別指定選手としてプロのキャリアをスタートしましたが、意識的に変わった部分はありますか。

限られた人数枠の中で、選手として選んでもら

えていることは当たり前ではないですし、自分の意見を尊重してくれたブレックスや大学（筑波大学）には感謝しています。

自分で決めた道なので、その責任を持ってチームに関わってこういう意識は強くなりました。

——以前のインタビューで、「自分のユニフォームを着て応援しているファンの方を見つけると嬉しい」と話していましたが、昨シーズンはその

——コート内外で、良く会話するチームメイトは誰ですか。またどんな会話をしますか。

誠司さん（#18 鶴選手）ですかね。

最近もご飯に連れて行ってもらいました。コートの外では、たわいもない会話が多いですが、誠司さんが僕をいじって、それを僕が否定したり、突っ込んだりしています（笑）。

——開幕が近づき、これからタフなスケジュールが始まりますが、リフレッシュするために行うことや今ハマっていることはありますか。

他のインタビューでも話していたサウナは、今もリフレッシュでたまに行っています。

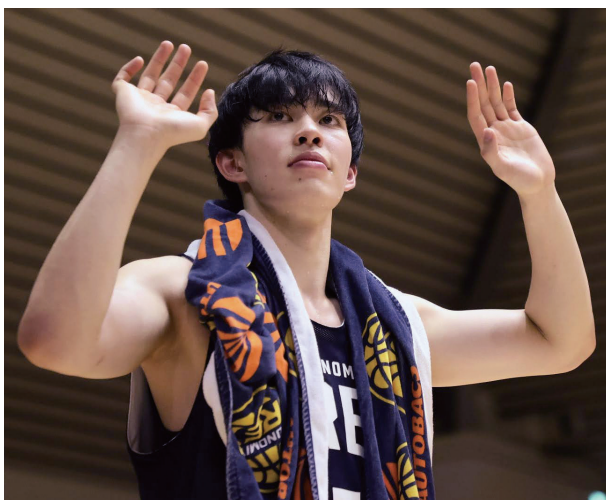
あとは、部屋の照明にプロジェクターを付けて、それを投影する機械があるんですが、それでアメリカのドラマなどを見るのが、大学の時から好きで、今も時間がある時はやっています。

——最近見た中で、オスメの海外ドラマはありますか。

最近ではないんですが、「ストレンジャーシングス」は面白いのでオスメです。最近見た中だと、「ルパン」や「ペーパー・ハウス」という海外ドラマが面白かったです。

——今シーズン対戦が楽しみなチームや選手はいますか。

チームとしては、琉球ゴールデンキングスとの対戦が楽しみです。佐々さん（宜央アソシエイトヘッドコーチ）がいるので、昨シーズンから成長した姿を見せたいですね。



——今シーズン、個人として注目してもらいたいプレーやポイントはありますか。

個人的にはスビードが持ち味なので、そこを活かした早い展開からの攻撃やアシストに注目してもらいたいです。

——チームとして注目してもらいたいポイントはありますか。

今シーズンの特徴でもあるディフェンスからオフエンスへの早い切り替えや展開のスビードは、チーム全体で強化しているのです、昨シーズンと比較しながら楽しんでもらいたいです。

——最後にブレックスファンのみなさんにメッセージをお願いします。

いつも応援ありがとうございます。
昨シーズンの悔しさを晴らすために、チーム全員が開幕に向けて毎日準備し、今シーズンは優勝を勝ち取るために頑張っていますので、会場でも、画面越しでもブレックスを応援していただくと嬉しいです！

小川 敦也
ATSUYA OGAWA

#7
PG
新潟県出身
2002年6月24日生まれ
190cm/84kg

2022-23 宇都宮ブレックス
※特別指定選手
2023-24 宇都宮ブレックス
※特別指定選手
2024～ 宇都宮ブレックス

Profile



オフィシャルファンクラブ CLUB-REX
2024-25 シーズン 会報誌『MOVE ON』

vol.01

STAFF

- Publisher
藤本 光正
MITSUMASA FUJIMOTO
- Editor
小野 順一
JUNICHI ONO
- Writer
飯野 沙也加
SAYAKA IINO
- Designer
久保成稔
MASATOSHI KUBO

- Photographer
中村 斗音
TOON NAKAMURA
- 手塚 雅昭
MASAAKI TEZUKA
- 茂野 憲一
NORIKAZU SHIGENO
- 松浦 あき
AKI MATSUURA

PUBLISHING OFFICE

株式会社 栃木ブレックス

〒320-0066

栃木県宇都宮市駒生 2-10-28 1階

<https://www.utsunomiyabrex.com/>